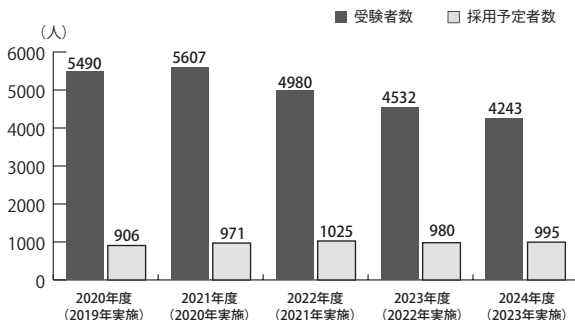


兵庫県

面積	8,401 km ²
人口	5,336,665 人
県の花	ノジギク
県の木	クスノキ
県の鳥	コウノトリ

求める教員像	<p>○教育に対する情熱・使命感をもち、児童生徒に愛情をもって接することができる。</p> <p>○教養、社会性、コミュニケーション力、想像力等の総合的な人間性を備えている。</p> <p>○高い倫理観と規範意識をもち、自らの人権感覚を高めることができる。</p> <p>○児童生徒、保護者や地域の方々と公正・公平な立場で対応することができる。</p> <p>○常に学び続ける姿勢をもち、新たな課題へ挑戦することができる。</p>
出願期間	<p>公開日 4月1日(月)</p> <p>電子申請 4月8日(月)9:30~5月13日(月)17:00</p>
試験日程	<p>1次試験 試験日 集団面接試験:6月15日(土) 筆記試験:7月21日(日) 合格発表日 8月5日(月)</p> <p>2次試験 試験日 8月16日(金)~27日(火)の指定した日 合格発表日 9月19日(木)</p>
年齢制限	昭和39年4月2日以降に生まれた者
募集教科	<p>[小特] [中特] 国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術、家庭、英語 [高] 国語、地理歴史・公民、数学、理科(物理、化学、生物)、保健体育、音楽、美術、書道、英語、家庭、情報、農業(農業土木)、工業(機械、電気・電子、建築・土木、デザイン)、商業、看護、福祉 [特] [養] [栄]</p>
特記事項	<p>■特別選考 (1)障害者を対象とした特別選考 試験内容等は一般選考と同じ。(2)「音楽」「美術」「技術」「家庭」のいずれかを含む複数中学校免許状所有者の特別選考 試験内容等は一般選考と同じ。(3)採用地域を限定した特別選考 [小特][中特]対象。試験内容等は一般選考と同じ。(4)特別免許状授与を前提とした特別選考 [中]技術、家庭[高]ネイティブ(英語)、家庭、工業、看護、福祉志願者で、規定の要件を満たす者。選考方法(試験内容・日時・会場等)は一般選考と同じ。ネイティブ(英語)志願者は、1次の集団面接及び教職・一般を免除。(5)教員免許状取得期間猶予の付与を前提とした特別選考 出願する区分・教科の免許状を令和9年3月31日までに取得でき、民間企業等で2年以上の勤務経験を有する者。選考方法(試験内容・日時・会場等)は一般選考と同じ。■免除 (1)第1次選考試験免除 次の①~③に該当する者は、希望により1次を免除。①昨年度2次試験で「条件付合格」と判定され採用に至らなかった者で、規定の要件を満たす者。②[高]看護志願者で、[高]看護の免許状を有し、令和7年3月31日時点で看護師、助産師、保健師の正規職員として5年以上の実務経験を有する者。③過去に本県内の公立(神戸市立を除く)で正規教諭等として2年以上の勤務経験を有し、かつ、平成31年4月1日~令和6年3月31日に本県内の国公立(神戸市立を除く)で常勤の臨時講師、正規の勤務時間の半分以上勤務する非常勤講師等として3年以上の勤務経験を有し、かつ、処分等を受けたことにより退職した者でない者。(2)現職筆記試験免除 公立の現職の教諭等で、令和7年3月31日時点で受験校種・教科と同一の教職経験を2年以上有する者は、1次の筆記を免除。</p>

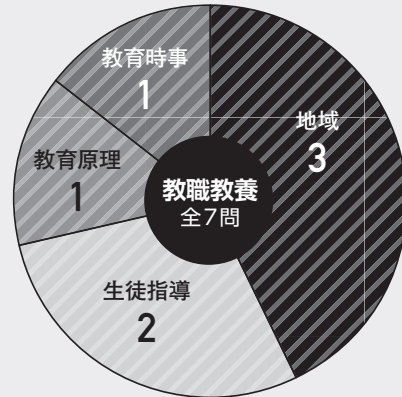
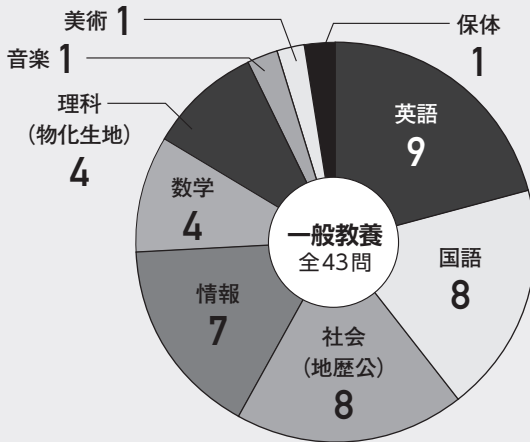
▼受験者数等推移



▼令和4年度 問題行動調査でのいじめの認知件数と不登校児童・生徒数

	小学校	中学校	高等学校
いじめ(件)	23,075	5,690	522
不登校(人)	4,961	9,642	2,024

2025年度(2024年実施)筆記試験DATA



*「地域」には「教育時事」、「教育原理」も含まれる。

- ▶ 幅広い領域から出題される特別支援教育
- ▶ 教育時事で頻出のご当地問題
- ▶ 自然科学で必出の情報

〈教職教養〉では例年、四択形式で幅広い分野から出題されており、今年度も同じ傾向であった。

教育原理（特別支援教育、人権教育等）のうち、特別支援教育では、「通常の学級に在籍する特別な教育的支援を必要とする児童生徒に関する調査結果（令和4年）について」（2022年）から前回調査の時期や小・中学校の調査結果、高等学校の調査結果等に関する問題が出題された。また、「兵庫県特別支援教育第四次推進計画」（2024年）から兵庫県がめざす特別支援教育の内容の理解を問う問題も出題された。人権教育では、『『多様な性』に対する正しい理解のために』（兵庫県教育委員会 2023年）から、他の児童生徒への指導や対応とのバランスを考えながら支援していくことが重要である等といった選択肢の正誤問題がみられた。

生徒指導では、昨年度に続いて「生徒指導提要」（2022年）から発達支持的生徒指導の理解を問う問題が出題された。また、「誰一人取り残されない学びの保障に向けた不登校対策（COCOLOプラン）」

（2023年）から不登校対策の取組内容の理解を問う問題もみられた。

教育時事では兵庫県の教育施策が頻出である。今年度は、第4期「ひょうご教育創造プラン（兵庫県教育基本計画）」（2024年）から3つの基本方針に関する問題が出題された。国レベルの施策については、第4期「教育振興基本計画（閣議決定）」（2023年）から今後の教育政策に関する基本的な方針の理解を問う問題が出題されている。

〈一般教養〉のうち、**人文科学**では国語（同音異義語、ことわざ、四字熟語等）、英語（会話文、文章読解等）を中心として、音楽、美術、保健体育等から幅広く出題されており、今年度も同様であった。**社会科学**では倫理以外の分野から幅広く出題されており、今年度も同じ傾向となった。**自然科学**では例年、数学（方程式と不等式、平面図形等）と理科全般に加えて、兵庫県独特の出題内容である情報等から幅広く出題されており、今年度も同じような傾向であった。